



別紙様式第2号（第3関係）

令和元年6月6日

奈良市議会議長 東久保 耕也 様

回答者 奈良市教育長 中室 雄俊

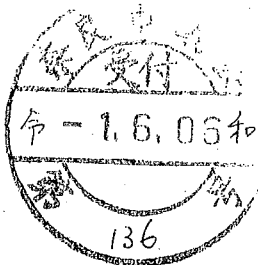


文 書 質 問 回 答 票

奈良市議会基本条例第21条第1項の規定に基づく松下幸治議員の文書質問について、次のとおり回答します。

質問事項	<p>1、施設一体型小中一貫校の整備で小学校の校舎と体育館を新增築し、中学校校舎を長寿命化改修する場合および解体費等の総コストについて</p> <p>2、平城西小中学校を義務教育学校とし、市立平城高校（県立奈良高校の分校）を設置する為に、平城西中学校と神功小学校と右京小学校を長寿命化する場合の総コストについて</p>
回答内容	<p>国の標準的な単価を用いて試算しますと、1、施設一体型小中一貫校の整備で小学校の校舎と体育館を新增築し、中学校校舎を長寿命化改修する場合は約24億程度が必要で、また解体費等で約5億程度、併せて29億程度と見込まれます。</p> <p>また、2、平城西中学校と神功小学校と右京小学校を長寿命化する場合の総コストについては、右京小学校で約11億、神功小学校で約7億、平城西中学校で約12億程度が必要で、併せて約30億程度必要であると見込まれます。</p>

（担当部局：教育部 教育総務課）



受理日 令和元年 6月 6日